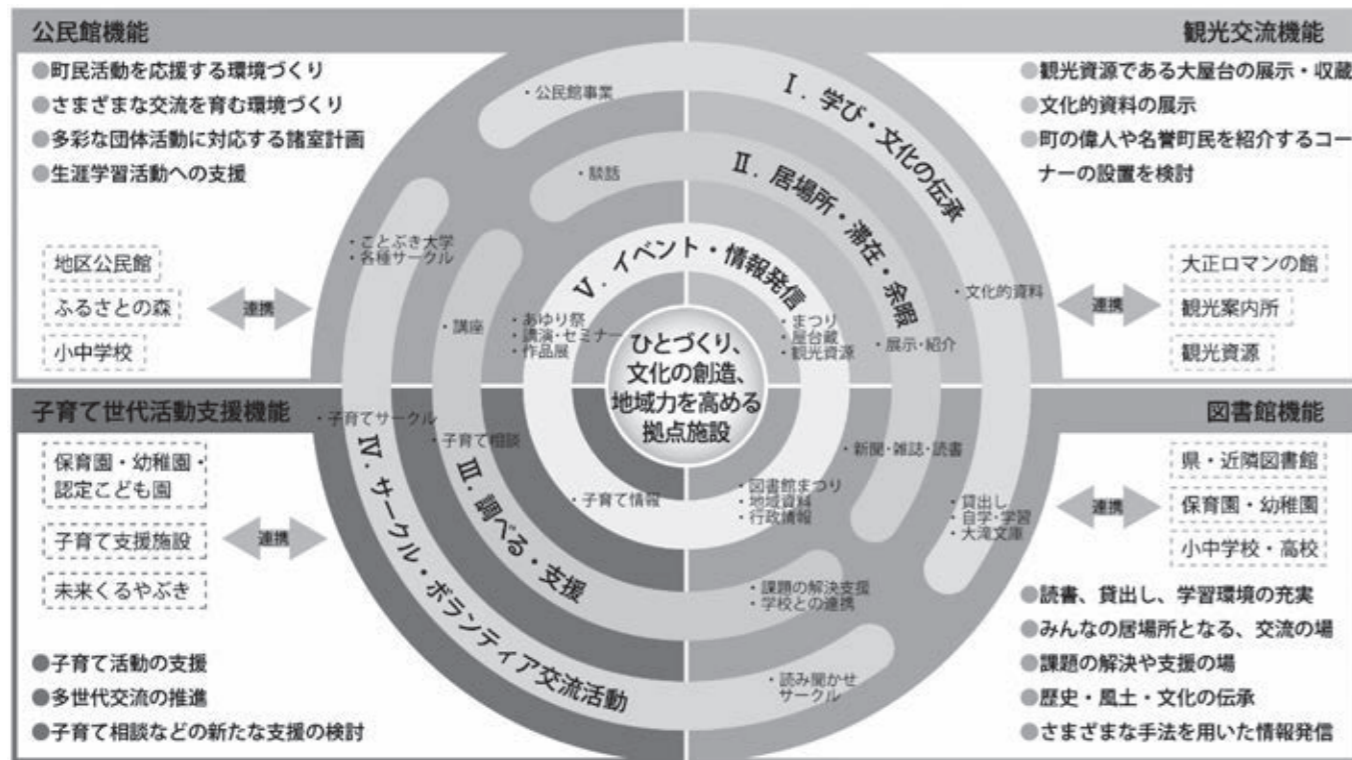


(仮称)矢吹町複合施設基本計画が策定されました



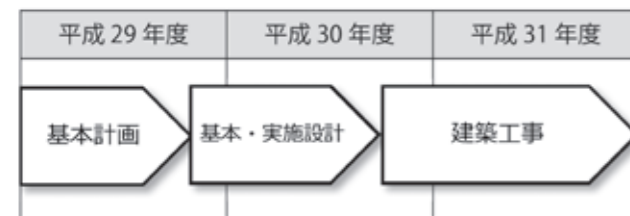
－4つの機能の整備方針、機能連携イメージ－



－環境等への配慮－

基本構想で掲げる「20のエコ提案」に基づき、太陽光や風力、地中熱等の自然エネルギー活用、省エネルギーに配慮した計画について検討を行い、環境負荷やライフサイクルコストの低減に配慮した施設を目指します。また、ユニバーサルデザインにも配慮し、すべての人たちにやさしい施設を目指します。

－事業スケジュール－



－管理・運営計画－

4つの機能が複合化する施設では、利用者が求めるニーズを幅広く把握し、機能の連携による効果的なサービス展開が求められます。今後、様々な管理・運営方針について十分な検討を行い、町民が足を運びたい施設運営を目指します。また公共交通ネットワークの整備等を検討し、離れた地域の方も利用しやすいような施設を目指します。

－概算事業費－

概算事業費約16億円

- ※用地、測量、設計、工事費を含む
- ※社会資本整備総合交付金約40%、起債（補助残の90%）、一般財源を予定
- ※様々な補助事業の活用を図ります。
- ※設計作業前の概算額であり、今後変更になる可能性があります。

－複合施設の愛称－

公募での決定やネーミングライツ等により、町民が親しみやすい愛称を検討します。

町では、平成28年10月に策定された、「(仮称)矢吹町複合施設基本構想」を基に、「(仮称)矢吹町複合施設整備検討委員会」において、複合施設の在り方、各機能や必要諸室の構成、運営方針等についてこれまで12回の会議を開催し、多角的な検討を行い、議論してまいりました。

このたび、「公民館」・「図書館」・「子育て世代活動支援」・「観光交流」の4つの機能が複合化することで実現される新たな場所、機能、役割、サービスなどの諸条件と考え方を整理し、町民の皆様の様々な文化的活動・芸術的活動・生涯学習活動・子育て支援活動についての情報収集と発信、さらには観光分野などを支援するための施設整備推進を目的とする、「(仮称)矢吹町複合施設基本計画」が策定されましたので、その概要をお知らせします。

キャッチフレーズ「集い・学び・遊び・育む フロンティア広場」

－(仮称) 矢吹町複合施設とは－

子どもから高齢者まで年代を超えて多くの町民が楽しく学び、育ち、共に助け合い、それぞれがくつろぎ、矢吹の伝統文化を伝え、そしてみんなで交流できる、生涯学習の拠点となり、文化の創造・地域力を高める場として構想されました。

「公民館機能」、「図書館機能」、「子育て世代活動支援機能」、「観光交流機能」の4つの機能を複合化した施設で、活動や一体的なサービスを提供し、ニーズに応えることにより、利便性が飛躍的に高まります。また、来館するとき、利用目的以外の機能に関心を持ってもらうきっかけ作りの場ともなります。

－基本計画とは－

平成28年度に策定した「(仮称) 矢吹町複合施設基本構想」で定めた基本理念や基本方針を踏まえて、施設の整備方針や方向性について検討し、より具体的な設計の指針とするものです。

基本理念「多くの人々が交流する町のシンボル施設」 (基本構想より)

－複合施設の整備方針－

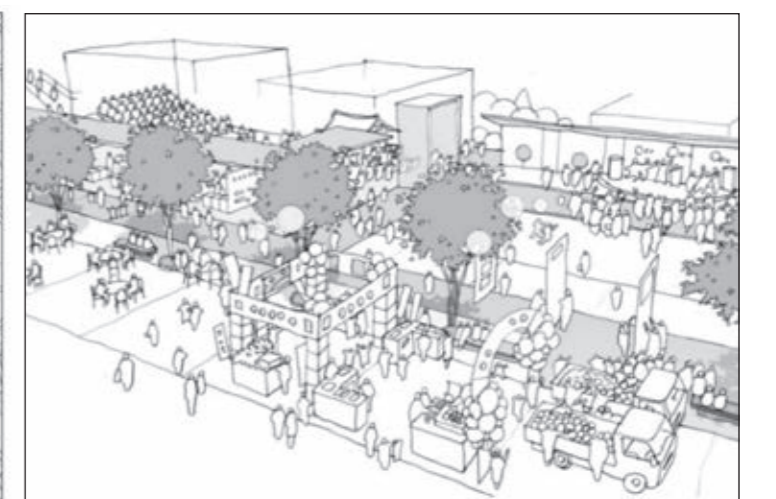
(仮称) 矢吹町複合施設は次の3つの目的と5つの目標のもと、矢吹町の元気が集まる施設を目指します。

3つの目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. ひとづくり・・・矢吹の未来を担う・豊かに学ぶ町民を育てる 2. 文化の創造・・・矢吹の歴史・伝統・文化を継承し創造する 3. 地域力の向上・・・矢吹町民の協働と自治、生きがいを育む
5つの目標	<ol style="list-style-type: none"> ①知識や技能を共に高め合い、認め合える環境づくり ②子育ての楽しさを分かち合い、健やかに育つ環境づくり ③矢吹町の歴史・伝統・文化の魅力を伝える環境づくり ④幸せな社会を創る活動拠点づくり ⑤多様な世代が安心して楽しく過ごせる「居場所」づくり

－位置図－



－イメージスケッチ－



旧奥州街道側から見た、みんなの広場イベント開催時のイメージ